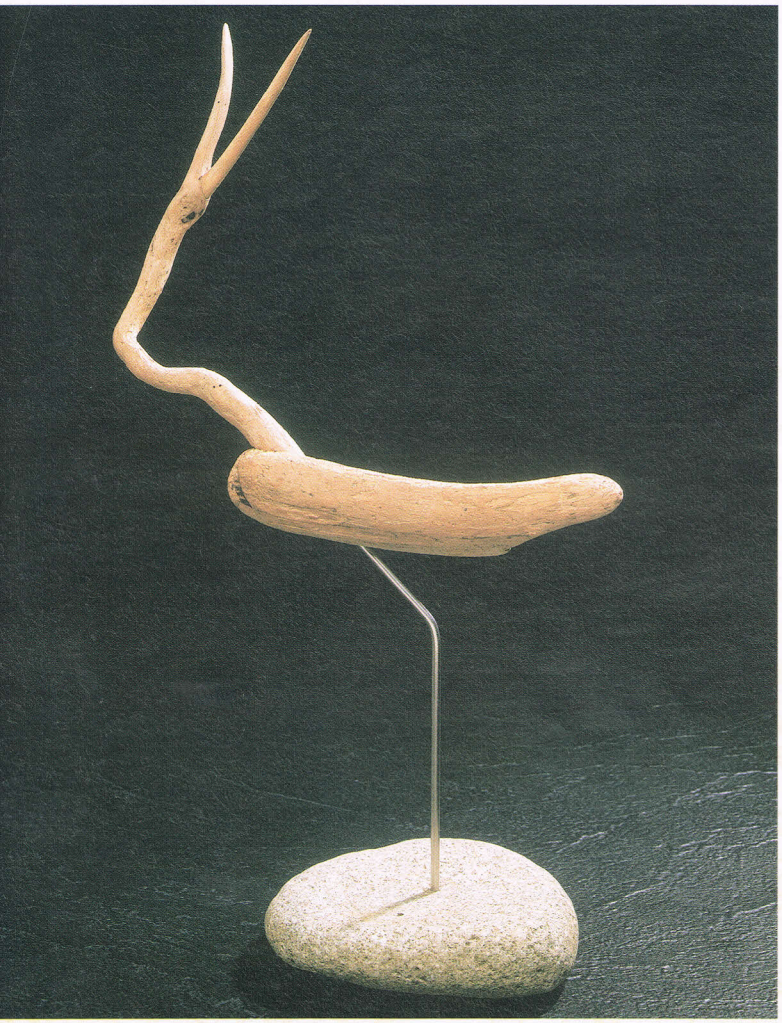
No.484

広報 みぶ

11年 9月



◀荒川じんぺい作「流木鳥影」作家蔵

▼川本哲子作「風の塔」個人蔵

町歴史民俗資料館企画展

壬生ゆかりの作家たち展

10月16日(土)～11月21日(日)

町教育委員会では、壬生ゆかりの作家たちと題して「荒川じんぺい　流木造形展」（10月16日～10月31日）と「川本哲子　創作人形展（11月3日～11月21日）を開催します。是非ご鑑賞ください。

（関連記事P14）

発行 壬生町役場　編集 総務部企画財政課広報広聴係　毎月15日発行　〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-81-1814

マロニエとちぎ緑花祭2000まであと1年！

緑化フェア開催に向け整備中のとちぎわんぱく公園

緑化フェアまであと1年となりました。今年は、宮崎県で開催され、190万人を超える多くの入場者を数え、5月に閉幕し、栃木県へと引き継がれました。

とちぎフェアの特色は、①栃木県独自の資産を生かしたフェア②子供たちへの贈り物になるフェア③県民参加を基盤としたフェアの3点です。

具体的には、60万本を超える花の演出による花壇、杉並木をテーマに人と緑の共生を演出した杉並木館、おもちゃと花緑をテーマに、親子のふれあいを演出したおもちゃ博物館特別展など見どころいっぱいです。

また、県民や学校などから出展参加を得て、コンテナや花壇による修景を行い、さらに見どころを増やして、体験型催事、エンターティメント催事等で賑わいを演出し、楽しい空間を作ります。

各家庭の庭などを花で飾ってもらおうと8月27日キバナコスモスの苗3万ポットの配布を町造園業協同組合の協力を得て実施しました。

全国都市緑化フェア開催状況

開催年、主催、テーマ、入場者数

S58 大阪府、グリーングロー大阪、148万人

S59 東京都、モアグリーン東京、550万人

S60 神戸市、コウベグリーンエキスポ'85、220万人

S61 札幌市、'86さっぽろ花と緑の博覧会、147万人

熊本県／熊本市、クマモト

「ぱなぱなメイツ」の3人が決まりました

「マロニエとちぎ緑花祭2000」を多くの人に知っていただくため、キャンペーンやイベント会場でのPRで活躍が期待される「ぱなぱなメイツ」3人が決まりましたので紹介します。
これから、いろいろなところでお会いできると思います。応援をよろしくお願いします。

氏名　森田智美
住所　塩谷町
年齢　22歳

応募の動機
地域に根ざした活動をこの手で行い、栃木県の発展に大いに貢献し、その素晴らしさを是非学びたいと思ったから。

氏名　大塚優代
住所　真岡市
年齢　24歳

応募の動機
たくさんのお客様と接することによって、自分自身を向上させていきたいと思ったから。

氏名　手塚晴美
住所　宇都宮市
年齢　26歳

応募の動機　多くの方に栃木県の素晴らしさを理解していただきたく、また自分も少しでも、自分の生まれ育った栃木県に貢献したかったから。

●入場料金

券種			料金	適用
前売入場券	普通	大人	1,200円	満18歳以上の者
		高校生	600円	高等学校に在学中のもの及び満18歳未満の者　※1
		小中生	400円	小学校等の児童、中学校等の生徒　※2
		シルバー	600円	満70歳以上の者
当日入場券	普通	大人	1,500円	前売券に同じ
		高校生	800円	
		小中生	500円	
		シルバー	800円	
	一般団体	大人	1,300円	有料入場者15名以上（券種区分の混合可）の団体が同時に入場する場合
		高校生	700円	
		小中生	400円	
		シルバー	700円	
全期間入場券		大人	2,500円	前売券に同じ
		高校生	1,300円	
		小中生	1,300円	
		シルバー	1,300円	
入場無料	幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校等、学校行事証明書を所持した学校行事団体の団員及び引率教職員			
	小学校就学前の乳幼児			
	身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、毒ガス障害者健康管理手帳、精神障害者保険福祉手帳の保持者とその介護者1名			
	15名以上の団体を取り扱う旅行業者の添乗員及び乗務員			

※1　高等学校等には高等専門学校、高等専修学校及び盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。
※2　小学校等、中学校等には盲学校、聾学校、養護学校の初等部、中等部を含む。

前売入場券発売中！

前売り入場券を9月6日から販売しています。前売券は、入場料金が割安なだけでなく、海外旅行や豪華景品が当たるなど特典がいっぱいです。

販売期間　平成11年9月6日(月)～平成12年9月8日(金)

入場料金　別表のとおり。期間中会場の花も装いを新たにします。両会場（みぶ会場、うつのみや会場）を何度でも入場できる全期間入場券がお得です。

前売券取扱所　旅行代理店、有名プレイガイド等

グリーンピック'86、125万人
S62　埼玉県／浦和市／大宮市／川口市、グリーンハーモニーさいたま'87、206万人
S63　名古屋市、緑・花・祭なごや'88、153万人
H1　仙台市、'89グリーンフェアせんだい、139万人
H3　北九州市、グリーンルネッサンス北九州、135万人
H4　神奈川県／相模原市、グリーンウェイブさがみはら'92、181万人
H5　茨城県／水戸市、グリーンフェア'93いばらき、167万人
H6　京都府／京都市、緑いきいきKyoto'94、236万人
H7　千葉県／千葉市、グリーンシンフォニーCHIBA'95、160万人
H8　富山県／高岡市／砺波市、彩りとやま緑化祭'96、191万人
H9　広島市、グリーンフェスタひろしま'97、155万人
H10　新潟県／新潟市／新津市、にいがた緑のものがたり'98、98万人
H11　宮崎県／宮崎市、グリーン博みやざき'99、190万人

※主催者のうち、(財)都市緑化基金は省略。
平成2年は、「国際花と緑の博覧会」開催のためとりやめ

平成12年４月１日
介護保険制度がはじまります！

～ 要介護認定申請の受付を今年の10月から開始します ～

介護保険のサービスを受けるには、まず、町へ要介護（要支援）認定の申請書を提出し、その認定を受けることが必要です。既に、ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイを利用している方や特別養護老人ホーム・老人保健施設・老人病院へ入所（入院）している方も、平成12年４月１日以降は、介護保険の給付となりますので、認定を受ける必要があります。

1 要介護認定申請書が置いてあるところ

- 民生部住民課
- 稲葉出張所
- 南犬飼出張所
- 壬生町在宅介護支援センター　みなと荘
- 壬生町在宅介護支援センター　元気

2 要介護認定申請書の提出先

- 民生部介護保険推進室（役場本庁）

3 要介護認定申請受付区分

新しく介護保険サービスを必要とする方	10～12月
現在既に在宅サービスを利用している方	11～１月
施設（老人ホームや老人保健施設等）に入所している方	１月

※２月以降も随時受付を行います。

介護保険の準備要介護認定の対象者と思われるのは、次のような方です。申請をする際のおおよその目やすとしてください。

あなたは身体上精神上の障害があるために、６ヵ月間にわたり継続して日常生活を営むのに支障があると思われますか？

具体例
- 入浴の際、浴槽の出入りや洗身に手伝いが必要。
- 立ち上がりや歩行に不安定さが見られ、洗顔・整髪・つめ切り等に手伝いが必要。
- 居室の掃除・薬の内服・金銭の管理に手伝いが必要。
- 排尿後や排便後の後始末に手伝いが必要。
- 毎日の日課や直前の行為の理解に低下がみられる。
- 食事の際、見守りや部分的な介助が必要。

いいえ → 将来介助が必要になったら認定申請してください。

はい →

あなたの生年月日は？

- 昭和35年４月３日以降生まれ → はい → 準備要介護認定の対象外です。
- 昭和10年４月２日以前生まれ → はい → 準備要介護認定の対象になると思われます。民生部介護保険推進室へ認定の申請をしてください。
- 昭和10年４月３日～昭和35年４月２日生まれ → はい →

心身の障害の原因は下記の病気によるものですか？

- 初老期の痴呆（アルツハイマー病等）
- 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞等）
- 筋萎縮性側索硬化症
- パーキンソン病
- 脊髄小脳変性症
- シャイ・ドレーガー症候群
- 糖尿病性腎症・糖尿病性網膜症 糖尿病性神経障害
- 閉塞性動脈硬化症
- 慢性閉塞性肺疾患
- 両側の膝関節または、股関節の著しい変形を伴う変形性関節症
- 慢性関節リウマチ
- 後縦靭帯骨化症
- 脊柱管狭窄症
- 骨折を伴う骨粗鬆症
- 早老症

はい → 準備要介護認定の対象になると思われます。民生部介護保険推進室へ認定の申請をしてください。

いいえ → 準備要介護認定の対象外です。

問合せ先　民生部介護保険推進室　☎81－1876・1877

平成12年度
保育園入園児の受付を行います

平成12年度の保育園の入園児の受付を行いますので、入園を希望される方は、次により申込みの手続きをしてください。

保育園とは…

保護者が仕事をしていたり、病気療養中のために十分な保育をすることができないときに、お子さんを保護者にかわって保育することを目的としています。

保育園に入園できる子どもは…

町内に住所があり、保護者の方が次の各号に該当しており、同居の家族の方もお子さんの保育ができない場合です。「集団生活に慣れさせたいから」、「長時間預かってもらえるから」、あるいは「経済的な理由から」ということだけでは、入園の対象となりません。

①家庭外で働いているとき
②家庭内で家事以外の仕事をもっているとき
③病気やケガまたは心身に障害があるとき
④病人や心身障害者の世話をしているとき
⑤その他子どもの保育ができない特別の事情があるとき

申込期間等

10月1日(金)～11月1日(月)

★保育見学会

申込期間中、保育園での児童の様子や過ごし方など、自由に参観することができますので、ご希望の保育園へお出かけください。

申込方法

入園申込書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。申込書は、町民生部福祉課並びに各保育園にあります。

入園選考

入園基準に従って、保育の必要性の高い順に入園決定をします。（申込順ではありません）

入園決定

申込書に基づき調査のうえ、来年1月頃保護者に通知します。

保育時間

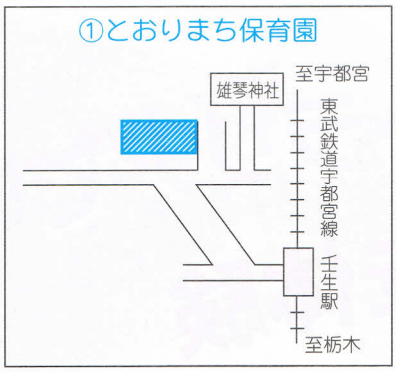
午前8時30分～午後5時まで（土曜日は午後0時30分まで）

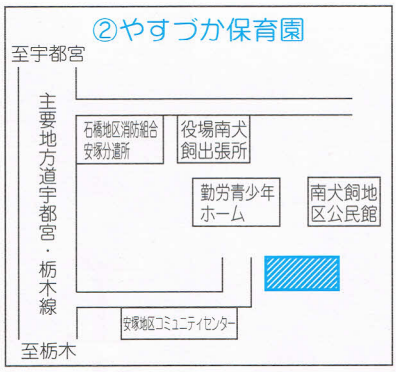
子育て相談は各保育園へ

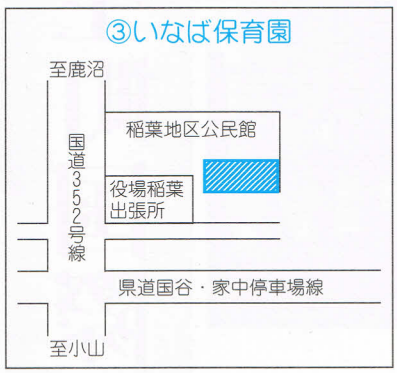
保育園では、お子さんのしつけやことばの問題など、子育てに関する相談をお受けしています。
お気軽にご相談ください。

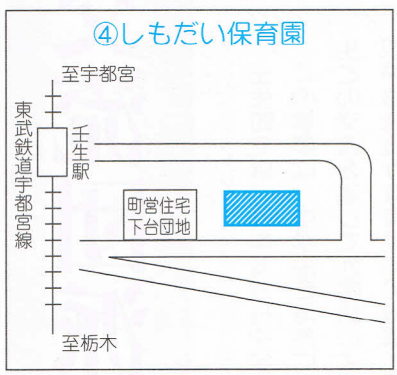
保育園の所在地

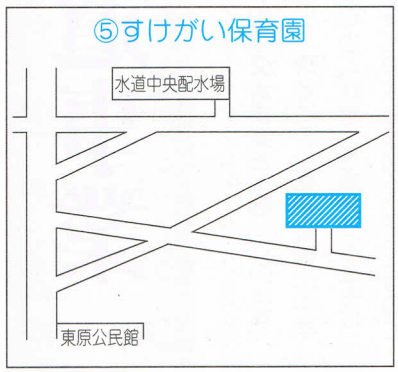
保育園名	所在地	電話番号
①とおりまち保育園	通町16－9	82－0330
②やすづか保育園	安塚1179－1	86－0132
③いなば保育園	上稲葉935－2	82－1059
④しもだい保育園	駅東町6－23	82－4815
⑤すけがい保育園	助谷1165－3	86－0237
⑥壬生寺保育園	大師町11－16	82－0811
⑦ありんこ保育園	壬生丁75－14	82－3137

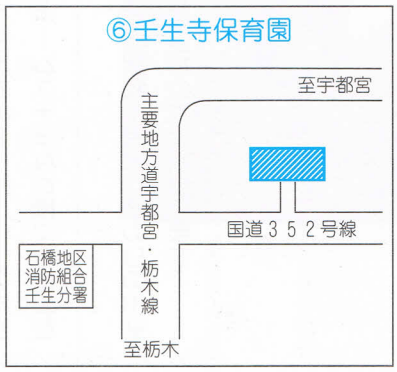


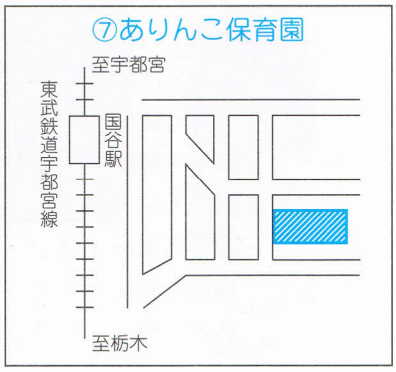












特別保育

★延長保育

（朝）午前7時～午前8時30分
（夕）午後5時～午後7時

保育の条件は、状況を調査し、必要と認められた場合、一定以上の希望者がいる場合に実施します。

保育料は、保育料に延長保育料が加算されます。

★障害児保育

心身に障害のあるお子さんで、集団保育が可能な場合にお預かりします。

★乳児保育

産休（育休）明けからお預かりします。

★地域活動

お年寄りの方々との世代間ふれあい活動や、郷土の文化等について指導を受ける伝承活動も行っています。

保育料

お子さん一人あたりの保育にかかる経費は、国・県・町の負担と一部は保護者に納めていただく保育料とで賄っています。町の保育料は原則として、入園児童の父母の税額（前年分の所得課税額及び前年度分の市町村民税額）に応じて、階層区分が決まります。

給食

▼3歳未満児

昼食は、完全給食です。おやつは、10時と3時の2回です。

▼3歳以上児

昼食は、副食のみがでますので、主食は持たせていただきます。おやつは、3時の1回です。

安全会

保育時間中に園内でケガをして病院にかかった場合には、保険の適用が受けられます。

問合せ先

町民生部福祉課児童福祉係
☎81－1831

★壬生町には、次のような児童福祉施設もあり、お子様をお預かりしています。
保育料等詳細については、直接お問い合わせください。

●さくらんぼ共同保育園
☎82－3211

●メリーランド保育園
☎82－5921

中学生16人がオーストラリアで ホームスティなどを体験

第8次 壬生町国際交流団派遣事業

オペラハウスをbackに

壬生町では、昨年度から中学生の国際交流事業を実施しています。この事業は、中学生を海外に派遣し、現地での生活や現地の中学生との交流を通じて外国語による表現力と理解力を高めるとともに、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的としています。今年も7月24日～8月1日までの9日間、中学2年生16人がオーストラリアのシドニーでホームステイなど様々な体験をしてきました。

このたび、参加された生徒たちから、期間中毎日、その日の出来事、感想等を綴った日記が寄せられましたので、紹介します。

派遣団員

（敬称略）

団長	篠原　義明	（教育長）
団長補佐	潮田　裕子	（南犬飼中教諭）
団員	梁島　和博	（壬生中）
	大橋　優一	（〃）
	榆木　崇仁	（〃）
	細田　翔大	（〃）
	鈴木　美紗	（〃）
	大橋　智美	（〃）
	赤羽根良美	（〃）
	玉田絵里奈	（〃）
	毛塚　洵	（南犬飼中）
	上田　博美	（〃）
	玉眞　優樹	（〃）
	鈴木　康裕	（〃）
	大川　絵美	（〃）
	吉澤真祐美	（〃）
	粂川実有紀	（〃）
	髙山　裕子	（〃）

7／24 壬生町出発 成田空港離陸

今、私たちは、飛行機のなかで、日誌を書いています。飛行機のなかで、食事をしたり、テレビを見たり楽しいことばかりです。

これからオーストラリアへ行くなんて夢のようです。初めて日本を離れて外国へ行くと思うと、とてもわくわくします。今日一番わくわくしたことは、機内の食事やおかわりできる飲み物がどんどん出てくることです。飛行機に乗るのがとても楽しくなりました。明日からもよい思い出ができるように、何事にも積極的に取り組んでいきたいです。（高山、玉田）

7／25 シドニー市内見学 ホームスティ先の家族と会う

心に残るホームスティ先のホストマザーの優しさ

一日の思い出は、飛行機もそうですが、一番心に残っているのはホームスティ先での生活とホストマザーの優しさでした。ホストファミリーと会うときは、とても緊張してしまいました。しかし、その緊張を吹き飛ばしてくれたのは、ホストファミリーでした。一緒に買い物をしたりして、とても驚きと喜びの一日でした。（上田、大橋(優)）

7／26 語学学校でクラス分け、水族館見学

オーストラリアの人達の親切さが身にしみた

今日、初めてホームスティ先から学校へ行きました。バスを利用してみてとても驚いたことがありました。それは、Ｂｕｓ Ｌａｎｅといってバス専用の道路があったことです。オーストラリアでは電車があまり発達しなかったため、バスがとても利用しやすくなっているそうです。

学校に行くのに少し迷ってしまったので、人に聞きました。英語を使って話をすることは難しかったけど、その人はとても丁寧に教えてくれたので、きちんと理解することができました。

昼食後、水族館を見学し、オーストラリアでしか見られないカモノハシを見ました。思ったより小さく、口ばしが大きくて可愛かったです。その他に、ブタの鼻に似ているサメを見ました。強そうではなく、とても弱そうに見えました。狭そうに見えた館内がとても広くて大きかったことに驚きました。昨日買ったポストカードに手紙を書いて友達や家族に送りました。

今日一日を通して、オーストラリアの人達の親切さが身にしみて感じられました。（大川、鈴木(美)）

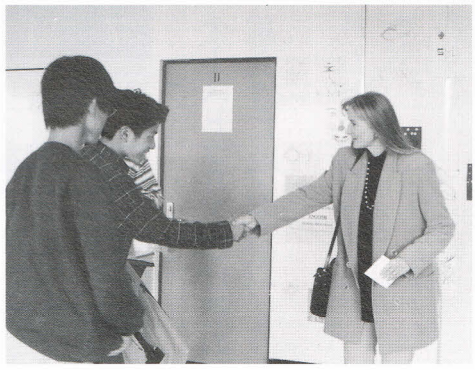
7／27 語学研修、現地中学生と文化交流

人と話すのには自分の心を開くことが大切

今日は、迷うことなく学校へ着くことができました。みんなそろってから、バスでＨｉｇｈ ｓｃｈｏｏｌに行きました。着くと生徒たちが迎えてくれ、校舎内のいろいろな場所を案内してくれました。見学後、日本で練習してきたリコーダーなどを演奏しました。それから生徒たちと交流、バッチと学校の旗をもらい、私たちは、リコーダーをプレゼントしました。生徒たちとおしゃべりしながら住所交換したりして楽しく過ごすことができました。

今日一日を通して、英語を使って会話をするのは大変だったけれど、人と話すのには、まず自分の心を開くことが大切なんだと思いました。（鈴木(美)、大川）

Newtown High Schoolにて



ホストファミリーとの初対面

7／28 語学研修、コアラ園・シドニーオリンピック会場見学

来年オリンピックが開かれる会場に感動

午前中Ｅｎｇｌｉｓｈ ｃｌａｓｓで、オーストラリア特有の動物たちのビデオを見たりして、勉強しました。

午後はコアラ園に行き、コアラと一緒に記念撮影したり、コアラやカンガルーを触ったりしました。それから、英語のクイズを解きながら、オーストラリア特有の動物のエミュー、コアラ、カンガルー、ウォンバット、ペンギンなどを見て学びました。Ｅｎｇｌｉｓｈ ｃｌａｓｓで学んだことが役にたちとてもよかったです。

次にシドニーオリンピック会場を見ました。ここで、来年オリンピックが開かれると思うとすごく感動しました。今日一日いろいろなものを見て学び、とてもよい一日を過ごすことができよかったなと思いました。（粂川、赤羽根）

7／29 語学研修、現地中学生とスポーツ交流

あっという間に過ぎたホームステイ5日間

ホームステイ最後の夜。5日間は長いようで短く、あっと言う間に過ぎてしまった。子どもたちとたくさん遊んだので、次の朝、別れを告げるのはとてもつらい。でも、その気持ちを外に出さないようにいつもどおりふるまっていた。ただ、今日だけは、30分長くホストファミリーと過ごした。その間、お土産をたくさんいただいた。アルバムを見せてもらった。

バスケットボールのコーチの先生から指導を受ける

少しすると、友達の集まりがあるからと言って、モリス夫妻は、家を出ていった。同時にベビーシッターが来て、4歳の子を寝かしつけていた。僕たちは、7歳の子と最後のゲームをした。9時になると、今度は7歳の子を寝かしにベビーシッターが僕たちの部屋へきた。そして、ゲームを終えるとグッドナイトと言って、自分の部屋へ行った。

明日は、とても悲しくつらいだろう。でも、ホストファミリーも悲しいはず。だから絶対泣かないぞと誓って、今日は寝ることにした。

（毛塚、梁島）

7／30 語学教室の終了式、さよなら昼食パーティ

もっとホストファミリーと会話したかった

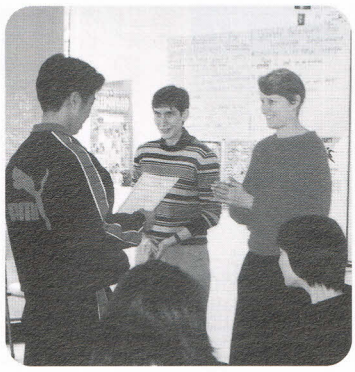
ホストファミリーとのお別れというさみしい朝を迎えた。この5日間、ホストファミリーは、私たちを本当の家族のように接してくれ、別れるのがとてもつらかった。「もっとホストファミリーと会話をしたかったな」と思った。

そして、語学研修終了日であった。私たちは、一人ひとり校長先生から、終了証を手渡され、最後に現地講師の方々と一緒に〝さよなら昼食パーティ〟をした。

午後シドニーから、オーストラリアの首都キャンベラにバスで行った。途中ものすごく広い草原そしてたくさんの羊の群れを見た。オーストラリアに来て、初めて、キャンベラのホテルに泊まった。

あと、研修残り2日。本当に楽しかったホームステイ、つらかったけど勉強になった語学研修のこと、きっと忘れないと思う。

（大橋智）



校長先生から修了証書が一人一人に手渡された

お世話になったホストファミリーとのお別れの日です。初めて会った時のことを思い出しました。ファミリーが温かい笑顔や優しさで、それまで抱いていた不安を一瞬にして消し去ってくれたことを覚えています。

初めて会う私たちと本当の家族のように接してくれました。英語のわからない私たちにジェスチャーを加えたり、英和辞書で教えてくれたり、一生懸命に理解し合おうとしてくれました。そんなファミリーとも今日でお別れなのです。別れを考えずに生活した5日間が戻ってくればいいのにと何度思ったことかわかりません。しかし、ホームステイを体験できたことも、ホストファミリーと出会えたことも、これから私にとって大きなささえになると思います。そして、これを私の一生の宝物にできることをうれしく思っています。

（吉澤）

7／31 国会議事堂見学

オーストラリアの自然の雄大さに改めて気づく

オーストラリア滞在最終日は、キャンベラのホテルから始まる。9時にそこを出た僕たちが初めに向かったのが国会議事堂であった。オーストラリアの首都であるここキャンベラの唯一の目玉といってもいいのがここである。中に入ると辺りはピカピカで資料の展示がしてある。僕の目には観光専門の建物に写った所だ。

次に、僕たちは、大平原の中の一本道を通って牧場へ行った。そこでは、羊の毛ガリを見たり、ブーメランをやった。日本では、ブーメランができるほど大きな空き地はないが、ここは違う。改めてオーストラリアの自然の雄大さに気付かされる時間であった。

その後、待ってましたの昼食だ。こんがりと焼けた厚い牛肉が、見ている僕たちに見せつけるかのように鉄板の上で音をたてて舞う。味は少々薄口だったが歯ごたえのある美味しいものだった。

そして、私たち一行はシドニーへ帰っていくのであった。

（鈴木康、細田）

バーバン牧場でブーメラン投げ

オーストラリアの生徒たちによる歓迎レセプション

最大の収穫は 学ぶ意欲の触発

団長(教育長)　篠原義明

英国に「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことは理解できる。感じたことは役に立つ」という諺がある。今回の研修旅行は、それが確認から確信に変わる研修旅行となった。

出発前、何でも見てやろう、何でも体験してやろうといった積極的な姿勢と、県の教育運動「学びあい、喜びあい、励ましあい」の三あい精神で研修の実をあげてこようとよびかけ、準備を進めてきたが、生徒たちが、ホームステイや語学学校での生活に適応できるかどうかという不安を抱えての出発でもあった。

しかし、それは杞憂にすぎなかった。二人一組のホームステイ先では誰もがボキャ貧に苦しみながらも何とか気持ちを伝え、1日ごとに交流を深めている様子が彼らとの会話から伺い知ることができた。また、語学学校への登校途中で下車駅を間違えたり、道に迷ったりした生徒が、現地のひとに親切に教えられ、遅刻しながらもいたく感激している様子を目にすることもできた。

今、進められている教育改革の中で、「いきる力」がキーワードとして示されているが、彼らは、ギリギリの場面で、自らにその力があることを感じ取ることができたのではないかと思っている。

私にとって一番印象に残っているのは、3日目の公立総合芸術科の高校を訪れたときのこと。

我々の訪問には1クラスの生徒が案内してくれた。最初に案内されたのは音楽教室。そこでは2階まで吹き抜けになった教室で30名くらいの生徒がジャズの演奏を行っていた。

リズムといい、音色といい、一級品の演奏で、皆ドギモを抜かされた。聞けば、プロを目指す生徒がオーストラリア全土から集まってくるとか。来年のオリンピック開会式の演奏者に3名の生徒が選ばれているという話も聞き、目を丸くして聞き入っていた。

次に観客席つきの演劇教室に案内された。そこでは、生徒が返礼の演奏をすることになっていた。プロ並みの演奏を聞いたばかりで、彼らが臆せず自分たちを表現できるかどうか不安を感じたが、リコーダーと合唱とで一生懸命に表現した「日本の四季」の歌は、動に対する静の効果を上げ、案内してくれた生徒たちに大きな感動を与えることができた。

国際理解は、言葉だけでなく、お互いの文化と歴史を理解し、尊敬しあうところに始まるといわれているが、彼らは思わずもがな、国際理解の何たるかを体感し、親善の役割を果たすことができた。

生徒たちは今回の生まれて初めての体験の中で、想像以上の適応力をみせてくれた。その都度、心に感じたことが多々あったようである。その中での最大の収穫はもっと英語を学びたい、もっと外国の文化を学びたいという学習意欲の触発にあったかと考えている。

今後それがどのように役立っていくか見守っていきたい。

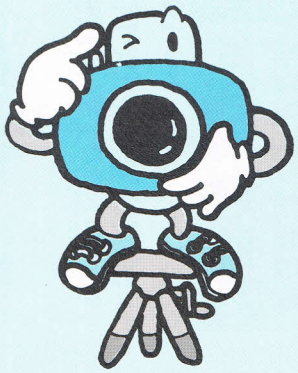
8／1　シドニー出発、成田空港着、壬生町着

全てが発見と驚きの連続、僕たちを内側から成長させてくれた

研修も終わり、今日は日本へと戻りました。大きな希望を胸に持ち、出発したのが昨日のように思えます。7月24日にこの壬生町を元気よく出発しました。それから9日間、1秒1秒の経験が、発見や感動の繰り返しでした。今日の飛行機では、空から光輝く太陽に照らされてゆっくりと進む雲が、この研修の完結を明るく見つめてくれているように感じられました。

本当にこの研修は、全てが発見と驚きの連続で、未熟といえた僕たちを内側から成長させてくれました。そして、自らも成長したように思います。きっとこの経験は、僕たちの心のなかにいつまでも生き続けていくでしょう。飛行機の窓から見たあの青空を忘れません。

（玉眞、楡木）



みんなの広場

皆さんのご応募をお待ちしています!

とっておきの名人④

人形を作る時が心休まる時

北小林　山井久子さん

作品の人形たちに囲まれて

木目込人形を作っている時が、一番心が休まるという山井さんは、12年位前、役場主催の講座でこの木目込人形を知りました。

その後、講座の参加者達で作ったグループで活動してきましたが、8年ほどでグループが解散。その後は独学で、試行錯誤を繰り返しながら木目込人形を作成し続けています。

材料はカタログ販売で購入し、時には土台を気に入ったように削り、着物も自前の布を使ったりして、市松人形や、十二単の人形、かむろ人形、干支の人形、雛人形などを作り、作業場がいっぱいになるほどです。

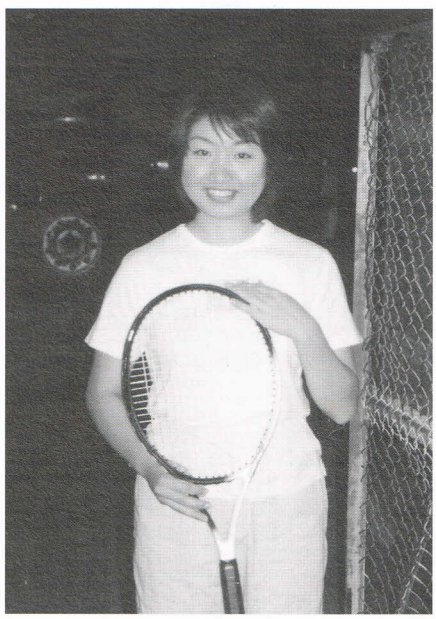
毎年、東京の浜松町で全国作品展が開催されますが、以前6回ほど出品し、副会長賞を受賞しました。

平成4年、東京キメコミ人形師範会から司教という資格を取得して、弟子も7人できました。

現在は都合のよい日に自由に習いにこられるような、友達同様のお付き合いをしています。

最近では、材料も題材も現代風になり、昔ながらの古典を題材にしたものが少なくなってきたと寂しそうに語ってくださいました。

青春スケッチ100



いろいろな国の文化に触れてみたい

駅東町　長　久美子さん

「スポーツなら何でも好き」という久美子さんは、バレーボールやスノーボードが得意で、最近新たにテニスを始めました。

会社では、営業事務の仕事をしていますが、休日には、友達とスポーツで汗を流したり、旅行したり、家では、料理を作ったりすることが多いそうです。

将来は、「外国語を勉強して、いろいろな国の文化に触れてみたい」と抱負を語ってくれました。

ただいま活動中 ④

汗をかきながらの活動が楽しみ

壬生町ジュニアリーダースクラブ

ふるさとまつりに協力

壬生町ジュニアリーダースクラブ（田中麻美子会長）は、中学生16名、高校生9名の計25名で活動しているボランティアグループです。

主な活動は、夏休みに小学5・6年生を対象とした『宿泊研修』、2月に行う『カルタとり大会』、各単位子ども会で行うクリスマス会やお楽しみ会の手伝いなど、町の子ども会育成会事業への参加や、『ふるさとまつり』で売店をだしてフランクフルトを売ったり、成人式の受付の手伝いなど町事業への参加です。でも一番の楽しみは、子ども達と一緒に汗をかいて活動することです。

このような活動をとおして得た様々な世代間の交流は、私たちにとってたいへん貴重な経験だと思います。そして、会員みんなが協力しあって活動していかなければ、このような様々な事業にも参加できないので、今後もチームワークを大切にして、頑張っていきたいと思います。

ボランティアに興味のある中・高校生の方、私たちと一緒に活動してみませんか。

文芸

文化協会文芸部選

短　歌

隣りより垣のり越えて来し南瓜（かぼちゃ）
三つ四つの実の太りゆく

鈴木佳世子

歯の治療受け居る窓の視野遠く
夫の眠れる寺の屋根見ゆ

奥村　トシ

馬追いの初鳴きの声夕闇の
ガラス戸越しに秋立つを告ぐ

渡辺真夕美

会うたびに死にたいと言う媼（おうな）にて
日毎の散歩欠かすことなし

黒尾　チエ

俳　句

全身で笑うみどり児雲の峰

佐藤　淑子

強弱の風うたた寝の団扇（うちわ）かな

広沢　ツヤ

水車小屋ありたる辺（あた）り百日紅（さるすべり）

鈴木　文二

かき氷九回裏のホームラン

山木八重子

私の作品

「ユリの花」

安塚小６年
大嶋麻実（あさみ）

「エサをみつけたハチドリ」

安塚小６年
浅野理奈（りな）

町歴史民俗資料館企画展

壬生ゆかりの作家たち展

10月16日（土）～11月21日（日）

荒川じんぺい　流木造形展

10月16日（土）～10月31日（日）

■略歴■　あらかわ・じんぺい

1946年壬生町生まれ。これまで冒険小説を中心に約2,300冊以上の装丁を手がけ、多くの雑誌にエッセイを執筆し、イラストレーションを描く。一方、流木造形を制作し、毎月『早稲田文学』の表紙を飾るほか、その活動はテレビなど多岐にわたっている。1990年から、週末は山梨県小淵沢の森に住み、東京と往復しながら、幅広い創作活動をしている。

荒川じんぺいは、装幀家・エッセイスト・流木造形家と多岐にわたり活躍しています。1983年神津島で出会った流木きっかけで制作をはじめました。流木オブジェとは、新しい造形の命を吹き込む生命の再生であるとする荒川。彼にとって流木オブジェは、いわば樹木の“一身二生”を表現した精神の造形です。本展では、文芸誌「早稲田文学」の表紙を飾った100余点の流木オブジェの全貌を紹介します。

川本哲子　創作人形展

11月3日（水）～11月21日（日）

■略歴■　かわもと・てつこ

1949年宇都宮市生まれ。空・月・風などをテーマに創作活動を続ける。81年に人形を与勇輝、87年にデッサンを飯田実氏に師事。86年の上野百貨店での初個展を皮切りに、東京と県内で、個展、二人展、グループ展。98年にはＮＨＫ連続テレビ小説「天うらら」人形制作を担当。現在、ＮＨＫ文化センター講師を務める。壬生町在住。

川本哲子は、ユニークな人形作家の与勇輝の作品を見て入門。幻想的で、独特の憂いを持つ創作人形を制作しています。川本の人形は、確かな技の中にこまやかな女性の感性が光り、生命への深い慈しみをいきいきと表現しています。彼女の人形は、ほんの一瞬をとらえた姿態の表現が、実に巧みで印象的です。本展では、独特のニュアンスを漂わせる創作人形30余点を紹介します。

■関連企画■

ワークショップ	10月24日（日）	荒川じんぺい氏による「流木を造形する」
アーティスト・トーク	11月14日（日）	川本哲子氏によるレクチャー＆トーク

■開館時間■　午前9時－午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休 館 日■　月曜日、火曜日午前、11月2日

■観 覧 料■　一般200円、中学生以下無料

■問 合 せ■　町歴史民俗資料館　☎８２－８５４４

「すこやかベビー」あつまれ

小平莉沙ちゃんご家族（国　谷）

山ノ井裕貴ちゃんご家族（助　谷）

篠原三奈ちゃんご兄弟（あけぼの町）

桑川達ちゃんご家族（緑町１）

安藤幹人ちゃんご兄弟（幸町１）

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。
※支援金の受給要件、申請方法等は、町福祉課児童福祉係（☎81－1831）へ

秋の行政相談週間　10月17日～23日

あなたの声をお寄せください

総務庁では、行政相談制度を設け、行政に対する皆さんからの苦情や意見、要望などを受け付け、その解決を促進するとともに、行政運営の改善などを行っています。全省庁の業務のほかJRやNTT、特殊法人の業務、自治体が国から委任された業務などが、相談の対象となります。

このような相談の相談相手となるのが行政相談委員です。

橋詰相談委員

行政相談委員は、民間の有識者のなかから総務庁長官が委嘱しているもので、皆さんの毎日の暮らしのなかでの苦情や意見を聞いて、関係する役所に公正・中立の立場であっせんを行い、行政運営の改善につなげる役割を担っています。

大森相談委員

10月17日から23日は、秋の行政相談週間です。本町でも下記のとおり特設行政相談所を開設します。

年金・医療保険・老人保健・福祉・交通安全・税金・消費者保護・環境衛生・道路整備など、どこに相談してよいかわからないときは、この機会に是非皆さんのお声をお寄せください。

また、行政相談委員は、月1回定例的に相談をお受けするほか、自宅でも相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時　10月21日（木）
　　午前9時～正午
場所　保健福祉センター
相談担当者
　橋詰　通　行政相談委員
　住所　壬生町大師町19－38
　☎　82－0259
　大森　忠　行政相談委員
　住所　壬生町通町3－12
　☎　82－2033

国民年金あれこれ

老齢基礎年金の魅力

「国民年金」には、老齢・障害・遺族の3種類の基礎年金があります。その中でも老齢基礎年金は、**〝長生きをして本当によかった〟**と思える年金で、**こんな魅力があります。**

①受給資格を満たせば、原則として65歳から生涯にわたり年金が受けられます。

②完全自動物価スライド制により物価変動に応じ、年金の価値を守ります。

③全国の国民年金保養センターなどの宿泊施設を割安に利用できます。

④年金額の3分の1を国が負担しているので安心です。

⑤年金の上乗せとして付加年金があり、付加保険料（月額400円）を納めた期間に応じて加算されます。

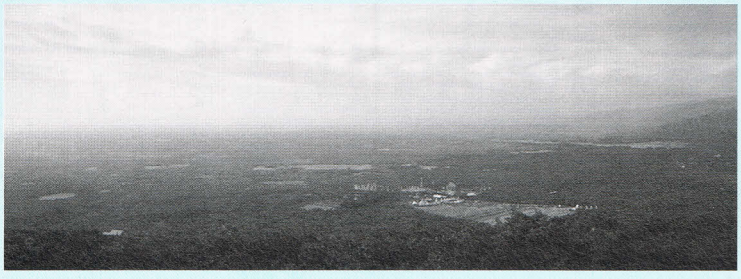
老齢基礎年金の計算式（平成11年度額）

$$\frac{¥804,200 \times (\text{保険料を納めた月数}) + (\text{保険料を免除された月数} \times 1/3)}{\text{加入可能年数} \times 12\text{（月）}}$$

※付加年金分が老齢基礎年金額に加算されます。

付加年金の計算式
¥200 × 付加保険料を納めた月数

とちぎに国会を!!



●国会等移転の候補地である那須地域を2回に分けてご紹介します。

那須地域は、那須地区、南那須地区、塩谷地区の16市町村で構成される地域です。
◎人口　約39万人（県人口の19%）
◎面積　2,230㎢（県土の35%）
東京都より少し広い面積を有していますが、人口は、東京都の3%くらいです。
◎地形及び景観
《北西部》　那須連山、高原山に代表される山岳地帯であり、那須高原や塩原温泉などのリゾート地もあり、美しい自然景観を有しています。
《中央部から南部》　那須野ヶ原を中心とする中央部から関東平野に属する南部にかけて平坦な地形が広がっており、その中に緩やかな丘陵地が存在しています。そこには平地林と田園風景が広がっています。
《東部》　緩やかな山並みを見せる八溝山地と那珂川があり、日本の原風景といえる里山の景観が多く残されています。

スポーツ

4種目の競技で熱戦を展開
壬生町身体障害者スポーツ大会

町身体障害者福祉会（田中一男会長）主催の壬生町身体障害者スポーツ大会が、長梅雨明けの7月27日、会員34名が参加して開催されました。

この大会は、県障害者スポーツ協会主催の障害者スポーツ教室を兼ねて、「ひとり、いちスポーツ」を通して、体力の維持増進・機能向上、仲間との交流・友情の輪を広げるために毎年行われているものです。

県障害者スポーツ指導員6名の指導のもとに、ビームライフル、ソフトペタンク、フライングディスク、グランドゴルフの4種目の競技を、一人2種目ずつエントリーし、前半・後半に分かれて熱戦を繰り広げ、爽やかな汗を流しました。結果は、次の通りです。

ソフトペタンク競技の様子

①ビームライフル
1位 高木 一正
2位 塚田 健次
3位 篠原 一男

②ソフトペタンク
1位 青木 章一・森けい子
3位 藤栄 武

③フライングディスク
1位 荒川 孝次
2位 刀川 秀司
3位 菊地 ヨシ・木村 保

④グランドゴルフ
1位 大垣 秀明
2位 朝日 昭
3位 藤栄 武

本町のフラワーズクラブ優勝
下都賀地区家庭婦人バレー

優勝したフラワーズクラブの皆さん

下都賀地区家庭婦人バレーボール連盟主催の第6回シニア大会が8月1日、野木町勤労者センターで開催され、本町のフラワーズクラブが見事優勝しました。

大会には、45歳以上の婦人が7チーム参加、猛暑のなか熱戦が展開されました。

○大会成績
優　勝　フラワーズクラブ（壬生町）
準優勝　さざんかクラブ（国分寺町）

県大会優勝の報告に町長室を訪問

県大会3度目優勝の壬生レッド
関東大会でも活躍

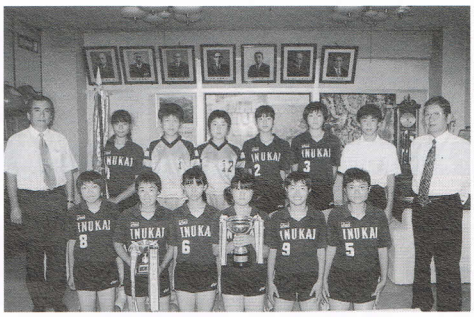
158チームが参加して熱戦が繰り広げられた第30回県学童軟式野球大会で、3度目の優勝を果たした壬生レッドチームは、8月24～26日まで東京府中市で開かれた第22回関東学童軟式野球大会に、栃木県代表として出場し活躍しました。

1回戦は、東京の大塚スネイクスと対戦、9－0と圧勝し、準々決勝では、埼玉の新座選抜を6－1で破りました。しかし、準決勝では、山梨の東桂に10－1で敗れ、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

ハンドボールで県大会優勝
水泳で上岡君が関東大会へ出場
―南犬飼中―

7月29～31日まで石橋町の勤労者体育センターと栃木市総合体育館で行われた栃木県中学校総合体育大会のハンドボール競技で、南犬飼中が見事優勝し、草加市で行われた関東大会にも出場しました。

また、栃木市総合運動公園プールで行われた水泳競技では、南犬飼中1年の上岡正明君が200m背泳ぎで6位に入賞し、関東大会に出場、健闘しました。



ハンドボール選手の皆さんと上岡君（後列右端）

安小準優勝でにこやかにパレード

第16回県下町内選抜学童軟式野球大会で、みごと準優勝した安塚クラブが、8月19日午後安塚駅前から安塚小学校までのコースでパレードを行い、沿道の町民に温かい拍手で迎えられました。

パレードに先立ち、安塚駅前では、清水町長や川島町議会議長、篠原教育長の他、PTA会長や、田代安塚小校長が、祝福の言葉をかけました。

選手たちは猛暑の中で戦った疲れも忘れ、始終にこやかにパレードをしていました。

安塚駅前をパレードする安塚クラブの選手達

剣道と水泳で関東大会へ出場
個人戦で金田君が第3位
―壬生中―

平成11年度第24回関東中学校剣道大会が8月7日、8日の2日間川崎市のとどろきアリーナで開催され、個人戦で壬生中3年の金田孝一君が第3位に、また団体戦にも壬生中剣道部男子が出場し健闘しました。

また、栃木県中学校総合体育大会の水泳競技が7月29、30日の2日間、栃木市総合運動公園プールで行われ、壬生中1年の染谷美穂さんが4位、2年の清水宏泰さんが7位、3年の須藤美紀さんが6位となり、水戸市民プールで開催された関東大会に出場しました。

関東大会を前に町長室を訪れた選手の皆さん

下都賀地区広域スタンプラリー当選者

下都賀地区広域観光開発推進協議会では、平成11年4月1日から6月30日の期間に、広域的な観光資源を多くの観光客にPRし、より魅力ある観光エリアを創造するとともに、広域観光のネットワークの強化・充実を図るため、広域スタンプラリーを実施しました。

下都賀地区9市町11施設のスタンプを応募はがきに3個押して応募いただきました。

結果は、次のとおりです。

応募者数　507名（壬生町14名）
当選者　183名
金賞　旅行クーポン券（50,000円）1本
銀賞　旅行クーポン券（30,000円）2本
銅賞　参加市町の特産品（2,000円相当品）90本
しもつが賞　テレフォンカード等商品多数（1,000円相当品）90本

壬生町の当選者
銅賞　大久保　敏夫　落合
大垣　良久　緑町
山川　志津恵　緑町
しもつが賞
大垣　節子　緑町
細川　咸子　おもちゃのまち
増山　裕美　おもちゃのまち

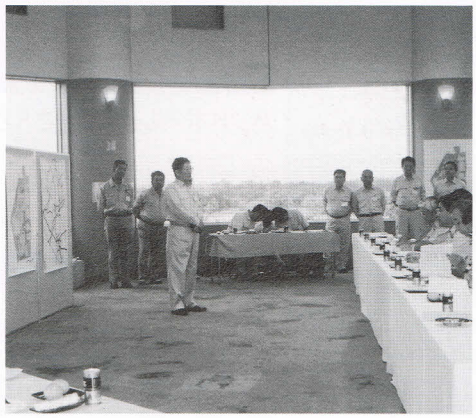
寄付

◆社会福祉協議会へ
（○数字は寄付回数）
大関フジノ様①　5千円
郡民体育祭ソフトボール壬生町選抜チーム選手一同様①　1万2千467円
壬生町分区赤十字奉仕団様⑥　5千690円
am. pm壬生本丸店様⑱　3千202円
匿名　1万6千円
小林　榮様⑤　8千円
しゃぼん壬生店様①　3千円
栃木県歌謡協会下都賀支部様⑤　5万円
㈱県南環境様㉓　2万円

まちのわだい

県議会土木委員会現地調査

緑化フェアに向けた一層の準備を要望



要望事項を説明する町長

県の土木委員会と、県の関係者の一行が8月20日、来年9月に開催される第17回全国都市緑化フェアの会場となる「とちぎわんぱく公園」の現地調査のため来町しました。

この日、おもちゃ博物館3階の展望室で行われた現地調査には、来賓に佐藤勉衆議院議員を迎え、町からは清水町長ほか町執行部、並びに川島芳之町議会議長、葭葉光町議会副議長、石村寿夫建設水道常任委員長が出席しました。

緑化フェアまであと1年と迫り、隣接する町総合公園、おもちゃ博物館と一体となった公園整備が望まれるなか、代表して清水町長が、引き続き会場に関連する連絡道路の整備と緑化フェア成功に向けたなお一層の準備を要望しました。

楽しい思い出つくる児童文化教室

野外炊飯の様子

8月6日～8日の3日間にかけて、町教育委員会と町子供会育成会連絡協議会（石村国央会長）主催による「児童文化教室」が開催されました。

町内小学校5・6年生74名が参加して、グループごとにオリジナルメニューによる野外炊飯、難問？だらけのウォークラリー、炎に負けず劣らずの熱気だったキャンプファイアー、暑さと蚊との闘いだった夜のテントなど、数多くの楽しい思い出をつくりました。

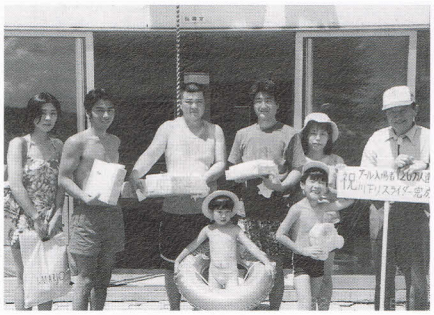
さらなる平和を願う戦没者追悼平和祈願祭

町慰霊碑管理委員会（三上義市会長）主催の平成11年度戦没者追悼平和祈願祭が、8月15日東雲公園内の慰霊碑前で行われました。

町遺族会、軍恩会、日傷会などから約60人が参加して、先の大戦で祖国の礎となって身命を捧げた800余柱の英霊に今日の平和と発展を感謝しました。

祈願祭では、三上会長、清水町長から追悼のことばが述べられ、正午から参加者全員で一分間の黙とうを行い、平和への誓いを新たにしました。

黒川の里ふれあいプール入場者120万人突破



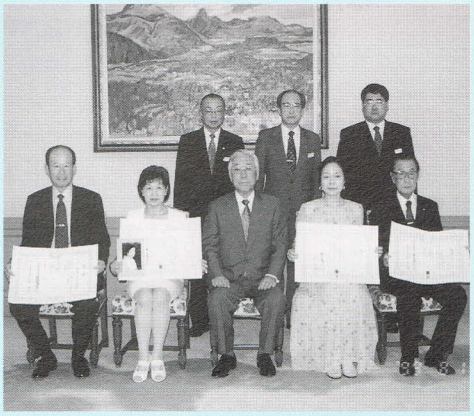
120万人目の高橋さん（中央）

昭和61年7月21日のオープン以来、流水プールや数種類のスライダー等、幼児から大人まで楽しめるプールとして、毎年大勢の利用者で賑わっている「黒川の里ふれあいプール」の入場者が、8月8日120万人を突破しました。

120万人目となったのは、宇都宮市の高橋正広（30）さんで、篠原教育長から記念品が贈られ、高橋さんは、「初めて来て、思わぬ幸運に大変うれしいです」と話していました。

また、今年は、「川下りスライダー」を増設したことから、その完成祝いも兼ねて、セレモニーを行いました。

紺綬褒章を受章
染織作家の高久尚子さん



下段右から２人目が高久尚子さん

壬生町出身の染色家、高久空木氏（1908～1993年）の養女で染織作家の高久尚子さん（東京都杉並区在住）は、このたび紺綬褒章を受章し、その伝達式が８月11日、県庁の知事応接室で行われました。

尚子さんは、平成10年に自己所有の空木氏の染色作品19点を町へ寄付、この功績により受章されたものです。

少年剣士が奉仕作業で「心の教育」

慰霊碑前広場での清掃活動

壬生町少年剣道教室（三上義市師範）並びに同育成会（白石英明会長）では、８月１日早朝から約２時間、東雲児童公園や慰霊碑周辺の清掃作業を行いました。

これは、地域の環境美化の推進を図るとともに、奉仕作業を通して勤労の汗を体験する「心の教育」の実践活動として毎年実施しているものです。

当日は、生徒、父母ら約50名が参加し、真夏の太陽が照りつけるなか、吹き出る汗をぬぐいながら、除草作業等に取り組んでいました。

清掃終了後、参加者全員が慰霊碑前に集合し、実際に戦争体験された三上師範から慰霊碑の由来や戦争の悲惨さ、平和の尊さについて講話を聴きました。

このあと慰霊碑に祀られている戦没者等に対し、全員で黙とうをささげました。

姉妹都市水口町を訪問
交流を深める

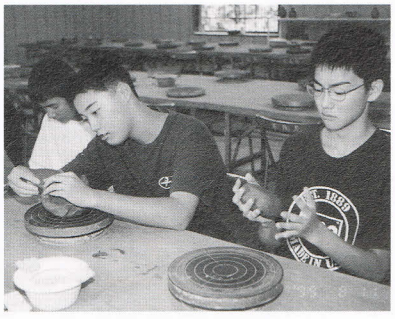
ゲームをやりながら自己紹介

かんぴょうが縁で姉妹都市提携を結び交流を深めている水口町と本町。

中学生の交流を始めて２年目となる今年は、本町の生徒30名と引率者９名が、８月９日から12日までの日程で水口町を訪問しました。

２日目、水口町中学生による歓迎会で、学校紹介・自己紹介・ゲームを行ったあと、ウォークラリー形式で史跡巡りを行い、交流を深めました。

３日目、伝統工芸である信楽焼き作陶を体験。ろくろを回しながら思い思いの作品を仕上げました。琵琶湖博物館を見学。琵琶湖の歴史、自然にふれることができました。



信楽焼き　作陶

今回の交流を通して、自分たちの町、壬生町を見つめ直すことができたことと思います。

～生徒の感想から～

水口町の中学生とウォークラリーで、施設巡りをして、水口城、資料館があり、歴史を感じる町でした。また、細かく分かりやすく町内を案内していただき、人の優しさは、両町とも同じだなと感じました。

壬生中　鈴木明日香

水口町の町並みを見たり、様々な施設や史跡を見学したりしたことや交流会をしたことを通して、壬生町や自分自身について見つめ直すことができました。

南犬飼中　小森真由実

プラハ少年少女合唱団

共演：壬生少年少女合唱団

12月4日(土)　開演：午後6時30分

旧チェコスロヴァキア国営放送専属の少年少女合唱団が、73年に独立してできたこの合唱団は、ボフミール・クリンスキー（Jr）の指揮のもと、チェコ国内でも最高の児童合唱団といわれています。

入場料　2,000円（全自由席）

※入場券は、9月8日(水)から壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、町施設振興公社事務所で取り扱っています。

カーティア・リッチャレッリ コンサート

11月27日(土)　開演：午後6時30分

69年のデビュー後、イタリア放送協会の〈ヴェルディの声〉コンクールに優勝しその名をイタリア全土に知らしめ、世界各地にデビュー。稀にみる早さでキャリアを築きあげた。スカラ座を中心に、世界の有名な劇場に出演。ベルカントの最も正統なスタイルを身につけた彼女は、カラヤンが生前最も愛したソプラノの一人であり、戦後のオペラ界の系譜、テバルディ、ステッラ、スコット、フレーニ等を受け継ぐ貴重な存在として、全世界で華々しい活躍を続けている。

入場料　4,000円（全指定席）

※入場券は、9月8日(水)から壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、町施設振興公社事務所で取り扱っています。

劇団銀河鉄道のぬいぐるみミュージカル

ヘンゼルとグレーテル

12月11日(土)　開演：午後1時30分

「お菓子の家」でおなじみのこの昔話は、母に言われて森に出かけた子どもたちが怪物たちに出会い、これをやっつけ、眠りの精、天使、動物たちと楽しい時間を過ごすが、魔女の甘い誘惑「お菓子の家」に入ってしまう。

しかし、二人の子は、子どもなりの機知と勇気で不安を取り除き、ピンチを脱します。

幼児たちに喜ばれ、幼児に生きる自信（元気）を与えてくれる舞台であると思ってます。

入場料　1,000円（全自由席）

※入場券は、10月6日(水)から壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、町施設振興公社事務所で取り扱います。

会　場：壬生中央公民館大ホール（城址公園ホール）　**主　催**：㈶壬生町施設振興公社
後　援：壬生町教育委員会　**問合せ**：壬生中央公民館　☎82－0108

10月の納税等

●国民年金（10月～3月分前納）（10月分）（納期限　10月29日）

納期限間際は、納付窓口が大変込みあいます。早めに納付しましょう。

まちのうごき

9月1日現在

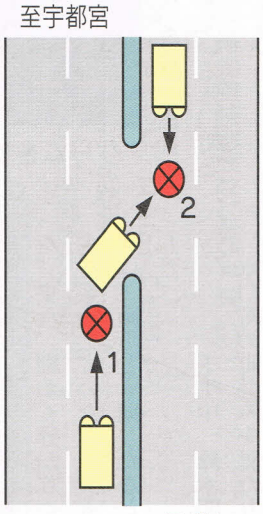
総人口	39,929人	（　9）
男	19,682人	（△3）
女	20,247人	（　12）
世帯数	12,902世帯	（　3）

（　）内は前月比

－警察署からのお知らせ－

なくそう交通事故

交通事故の事例



注意しましょう

(1)前方を注視しながら運転すること。

(2)バイパスは、高速進行の車両があることから、先を見越した運転につとめること。

※中央分離帯の切れ目を利用し、事故が多く発生していることから、信号機の設置されている交差点や広い交差点を利用すること。特に夜間の発生が多い。なお、残暑厳しく、緊張が緩み事故が多発しています。緊張感を持った運転に心掛けること。

－事故の状況－

	8月	累計	前年比
事故件数	14	180	＋42
死　者	0	2	0
負傷者	18	211	＋52